

国立病院機構・仙台西多賀病院(2025 年 11 月 29 日)・スヌーズレン講習会(12 時から 18 時まで) 参加者の感想 (講師: 姉崎 弘)

(そのままの文章を以下に掲載します。)

- ・とても貴重なお話、ありがとうございます。脳科学からのスヌーズレンは初めての情報でしたので、とても興味・関心を持ちました。また実践していく上で、評価をリストとして細かく記録をしたことがなかったので、今後に生かしていきたいと思います。 50 代保育士
- ・評価の部分をもっと聞きたかったです。今後も勉強していきたいと思います。今まで色々なアイデアを持ちながら実施してきましたが、講義とビデオを通しての進め方など、今後取り入れていきたいと思います。本当にありがとうございました。 50 代保育士
- ・実践方法についても、部屋に利用者をあてはめていた傾向だったことに気づかされました。
- ・じっくり時間と期間をかけた実践や利用者のニーズに合わせた関わりをもつことの大切さ、たくさん勉強になりました。ありがとうございました。
- ・先生の体験談やスヌーズレンの説明について、わかりやすくお話いただき、ありがとうございました。
- ・大変貴重なお話、ありがとうございました。先生の研究と実践を交えて、経験豊富なお話大変勉強になりました。
- ・入職当時からスヌーズレン療育は行っていますが、あいまいな理論やプロセスで行っていたことにいろいろな課題があるなあと反省しています。研修の中で先生のお話やワードに患者支援の基本に改めて気づかされました。本日研修で学んだことを活かし今後の活動を行ってきたいと思います。 50 代保育士
- ・本日の講義ありがとうございました。とても参考になりました。講義を聞き、三項関係が出来ていなかったと思いました。患者さん一人ひとりのニーズを確認することなく、部屋を作り、活動することで満足していました。またスヌーズレンは、その空間でリラックスするだけで良いと思っており、スヌーズレンを行い評価し、部屋や関わりを患者さんの変化に合わせて換える必要があるとのことで、とても目からウロコの事ばかりですごく勉強になりました。今回スヌーズレンを改めてきちんと学びスヌーズレンの見方が変わりました。今後は学んだことを活かし、患者さんに合わせたスヌーズレン活動を行ってきたいと思います。 30 代保育士
- ・本日は研修ありがとうございました。今までの知識では、なかなか患者さんの評価という面では、実践してこなかったように思います。接触・表情は見えていても、その後に続く結果を出していませんでした。今後活動では、学んだ知識を応用し患者さんへ生かせる支援を行ってきたいと思います。
- ・本日はありがとうございました。私の病院ではパターンが決まっていて、なんとなくの流れでスヌーズレンを行っていましたが、重症度が高くて自己選択し、一人ひとりのニーズに合わせて環境を整えることが大切だと学びました。 20 代保育士
- ・入職して初めてスヌーズレンという療育を知りとても感動しました。当院でも 10 年以上取組んできており、とても広い空間で、スヌーズレンルームを作って活動提供してきましたが、研修は受けたことがなかったので、スヌー

ズレンの実践の進め方や評価などとても勉強になりました。スヌーズレンルームを作ることにより一生懸命になり「指導法・実践法の三角形」のお話を聞き、ハッとしました。利用者のニーズを大切にこれからもスヌーズレン活動を頑張っていきたいと思います。 40 代保育士

- ・あまり活動に取り入れられていなかったため、基本的なことからも勉強になった。写真があつて頭に入りやすかった。 20 代保育士
- ・本日はありがとうございました。私はまだ療育に携わって日が浅く、スヌーズレンについても同僚に教えてもらって行うという形でした。正直スヌーズレンの意味や内容をきちんと理解せずに行っていたので、今回深く知ることができて良かったです。空間の広さ、器材の量など、関係なく行えるのがスヌーズレンであることを知り、色々実践してみたいと思いました。 20 代保育士
- ・なかなか研修の機会が少なく、今回参加することができ、とても勉強になりました。スヌーズレンについてより深く学ぶことができました。沢山の器材がなくても少しの器材と狭い空間でもできることを知りました。そしてスヌーズレンを楽しんだ後の利用者さんの表情も今後観察していきます。本日はありがとうございました。
- ・海外のスヌーズレンの実態や歴史、研究等について詳しく学ぶことができました。今後の療育に活かしていきたいと思います。国立病院では、入院している重症心身障害児者の方々への療育をしている保育士が多数を占めるため、養護学校や教育現場のお話も多く伺うことができて新鮮な時間だったかと思います。
- ・スヌーズレンの評価について知ることができ、大変参考になりました。少しずつ刺激を増やして、複数の目で観察し、意見交換することやニーズに合わせて環境を設定し、計画的に実践して評価すること等、貴重な講習会に参加させていただき、ありがとうございました。 40 代保育士
- ・貴重な講演ありがとうございました。事例を交えてお話を下さるので、とてもためになりました。理論を聞く機会があまりなかったため、自分なりの解釈で実践していました。環境設定ばかり気にして患者のニーズを疎かにしていたかもしれません。改めて患者ありきということを実感しました。ありがとうございました。 40 代保育士
- ・本日はお忙しい中、貴重なお話をいただき、ありがとうございました。私はまだ入職して 1 年目で、4 月から約 3 か月重症児者病棟を担当し、数回スヌーズレンを実施しましたが、現在筋ジス病棟を担当しています。筋ジス病棟ではまだスヌーズレンを実施したことがなかったので、今回の研修を受けて筋ジス病棟の利用者の方は日中各々でリハビリに行ったり、自室でゲームをしたり、学生は学校に行ったりしているため、なかなか活動を行うタイミングが難しいですが、利用者の方々の心身の安定、リラクゼーション、不安を和らげる等、利用者の方々に寄り添う方法の 1 つとして実践してみたいと思います。
- ・本日はありがとうございました。基礎講座をお願いし、スヌーズレンの歴史や実践で詳しく説明して頂き、成り立ちを学ぶことができました。他の施設でどのような方法で行っているかにもとても興味を持ちました。ぜひビデオなどをもっと見る機会があると良かったかと思います。 40 代保育士
- ・スヌーズレンの歴史から評価まで幅広く講義していただき、とても参考になりました。スヌーズレンをするときの環境設定の仕方、支援者として主導的にならずに、対象者の動きや表情の変化を捉えることの重要性を学ぶことができました。評価についても、その場をただ活動して終わるのではなく、患者様の表情、どんなことが好き

かをきちんと評価して、次のスヌーズレンの活動に反映させていかなければならないと、改めて感じました。

- ・大変参考になりました。少人数で今後実施いたします。
- ・本日はご講義ありがとうございました。評価のポイントの所で「利用者が見えているか、その気持ちに寄り添っているか」「対象者の嫌がることはもちろんしない」とおっしゃってました。しかし講義の序盤で、「暗がりや嫌がる対象者もいる、しかし継続していけば、楽しみを見出せるかもしれない」ともおっしゃってました。対象者が嫌がっている場合、取組みを継続する・しないの線引きはどのように判断すればいいでしょうか(質問)。 30代保育士
⇒ご質問への回答: とりあえず、もう少し同じ活動をしてみて利用者の様子を観察したらよいと思われます。嫌い、と思われたことが、その環境が初めてであったりして、まだ諸刺激に慣れていないため、受け入れられないでいることも考えられます。また、あるいはその刺激や環境が本当に嫌いとも考えられます。多くの場合、その環境が怖いものではなく、安心できるものであることが、本人なりにわかってくると、受け入れやすくなって、嫌がる行動は減っていくと考えられます。しかしそれが本当に嫌いな場合は、その環境設定の仕方或使用する刺激を基本から見直して、その利用者がその時間を楽しく過ごせるように、その利用者のニーズに合った、環境や刺激を適切に選択する必要があるのではないか、と考えられます。
- ・今日はお忙しい中、遠方まで来ていただきありがとうございました。スヌーズレンは実践していたものの、基本的な設定の仕方や評価など、改めて視点を変え、利用者の方と向き合い、共感していくことの大切さを学ばせていただきました。スヌーズレン器材の紹介もありましたが、器材だけではなく、どんな場所でも実践していくことができるということも知ることができ、利用者にとって心地よい活動を目指してこれからもスヌーズレン活動を提供していきたいと思います。スヌーズレンの素晴らしさを教えていただき、ありがとうございました。
- ・今日は貴重なお時間をいただき、ありがとうございました。初めてスヌーズレンの勉強をさせていただきました。当院でもスヌーズレンを取り入れていますが、対象者の方へのニーズ⇒環境設定の順ではなく、スヌーズレンルームを作ったものを、皆一緒に見ていただいていた。改めて、正しいスヌーズレンを学ばせていただき、感謝いたします。より良いスヌーズレンを提供できるよう努めさせていただきます。スヌーズレンのすごさ、誰にでも有効だということ、とても実感致しました。
- ・スヌーズレンの歴史や理念などを本日知ることができ、知識を深めることができました。先生の定義を聞き、スヌーズレンの活動に活かしていこうと思います。本日はありがとうございました。 40代保育士
- ・スヌーズレンや重症児(者)について、とても丁寧に講義していただき、大変勉強になりました。今まで“なんとなく”で行ってしまっていたスヌーズレンでしたが、今後は理念や思想等を理解した上で取り組んでいきたいと思えます。特に、脳科学についてのお話で、視覚や聴覚などの五感の障がいがあっても残っているとのこと、今後も五感に働きかける活動に取り組んでいきたいと思いました。ありがとうございました。
- ・実践の指導と評価について教えていただいたので、ぜひ取り入れてみたいと思いました。意義や歴史、思想なども、これまで聞いたことがなかったので、大変勉強になりました。先生のこれまでの長い歴史も聞けました。
50代児童指導員
- ・スヌーズレンを行事として計画して行っていますが(年4回)、一人ひとりの細かい評価までできていなかったと、今回気づかされました。来週から“クリスマス・イルミネーション”を実施するので、ぜひ表情や細かな快・不快

の仕草なども見ていけたらいいな、と思いました。スヌーズレンの講習を受けたのは初めてだったので、とても勉強になることが沢山ありました。今後の療育活動に活かしていきたいと思います。本日はありがとうございました。 40 代保育士

・スヌーズレンについて、具体的に詳細に初めて学ぶことが出来ました。なんとなく理解はしていましたが、今後は根拠をもって利用者さんと活動していけそうです。お一人お一人に合ったスヌーズレンをできるよう、アイデアを持ち寄って実践していきたいと思います。 50 代保育士

・スヌーズレンは、感覚刺激とリラクゼーションを目的とし、個や集団に合わせて環境を整えることの重要性を理解することができ、スヌーズレンの実践についても理解を深めることができた。本日は貴重な講演をありがとうございました。 20 代保育士

・まだスヌーズレンを経験していないので、実践する際には注意点に注意し実践したいです。またインテークの際に利用者について事前に理解を深めた上で、実践につなげられたらと思いました。 20 代保育士

・初めてスヌーズレン講習会に参加させていただきました。今まではスヌーズレン用品を並べた部屋に、利用者さんを連れてきて活動をする・・・といったやり方で行っていたのですが、今回の講習会で、まずは利用者さんのニーズを聞くことが大事であると教えていただき、私たちの活動は利用者さんのことを考えていない、保育士(介助者側の)中心で行っていたのだと気づきました。利用者さんに寄り沿った活動を今後は心掛けていきたいと思いました。また評価についても、今まで実施したことがなかったので、先生にいただいた資料を参考に評価していきたいと思います。本日はありがとうございました。 50 代保育士

・実際に患者さんとスヌーズレンを行う中で必要なポイントを学ぶことができました。個々のニーズによって支援内容を考えて、活動に安心感や介助者との信頼を深める大切な時間になると思います。道具に頼らず、個々に合わせた支援や保育に取り組んでいきたいです。また質問になりますが、自分で器材を作るという部分で、作り方や実際に使われた物があれば知りたいです。 20 代保育士

⇒ご質問への回答: 創始者たちは著書の中で、自分たちも多くの自作教材を作ってこられましたが、自分たちでスヌーズレンの器材等をつくる場合、注意点としては、①安全性の確保、②品質が良い物を使用していること、③火気の安全性が確認されていること、④メンテナンスが考慮されていること、⑤材料が完全に非毒性であることが重要である、と指摘しています。この指摘は大変貴重です。また創始者たちの著書、姉崎 弘監訳『重度知的障がい者のこころよい時間と空間を創るスヌーズレンの世界』福村出版、2015 年 pp.175-194 第 7 章「自分でつくるスヌーズレン用具」に、具体的な多くの制作例と名称、使用法などが掲載されていますので、とりあえず、これをご参考に製作してみたいかがでしょうか。みなみに、私の調査したところ、多くの特別支援学校でも自作教具が作られています。これは現在、論文にまとめていますので、残念ですがお伝えできませんが。何卒ご了承下さい。

(文責: 姉崎 弘)

ご協力、誠にありがとうございました。